

レジメン名

Bev+CBCDA+weeklyPTX

出典 Anticancer Research 34: 275-282(2014)

実施部署区分

☒ 入院
☒ 外来
☐ 処置

対象疾患

非小細胞肺癌

☒ 進行・再発
☐ 補助療法(術前・術後)
☐ 初発
☐

投与減量の基準

その他			

投与中止の基準

ANC	1000/mm ³ 未満	PLT	5万/mm ³ 未満
AST,ALT	200IU/L以上	Hb	8.0g/dL未満
		T-bil	3.0mg/dL以上
その他	出典には中止基準設けられていないため、Grade3以上の有害事象である上記の値で登録した。		

1クール期間 28日

(次のクールまでの標準期間)

総クール数 4-6クール

※その後、維持療法として
Bevのみ継続

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度 (時間)	投与日(d1、d8等)
ベパシズマブ	15mg/kg	NS100mL	90分* (30分まで 漸減可能)	d1
パクリタキセル	60-80mg/m ²	輸液250mL	60-90分	d1.8.15
カルボプラチン	AUC4-5(GFR+25)	5%TZ250mL	60-90分	d1
カルボプラチンの投与量計算に用いるGFRはCockcroft+GaultとeGFR×BSA/(1.73×0.715)のうち低い値を採用。安定性の観点からカルボプラチンの希釈液は5%TZを基本とする。				
※初回は90分、忍容性があれば2回目は60分、3回目以降は30分まで短縮可能。				

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、 溶解液まで含む)
day1)DIV ①生食50mL(リート確保用) ②ベパシズマブ15mg/kg+生食100mL(90min*) ③生食50mL(フラッシュ用) ④パロ/セトロン0.75mgパック+デキサート6.6mg+ホラミン5mg+ファモチジン20mg(30min) ⑤パクリタキセル60-80mg/m ² +輸液250mL(60-90min) DEHPフリーのインラインフィルターを用いて投与 ⑥カルボプラチンAUC4-5+5%糖液250mL(60-90min) ⑦生食50mL(フラッシュ用) day1-3) p.o. アプレタントカプセル(125-80-80) day8、15)DIV ①デキサート6.6mg+ホラミン5mg+ファモチジン20mg+生食100mL(30min) ②パクリタキセル60-80mg/m ² +輸液250mL(60-90min) DEHPフリーのインラインフィルターを用いて投与 ③生食50mL(フラッシュ用)